

令和5年度包括外部監査 「委託に関する事務の執行について」

令和5年度吹田市包括外部監査人 弁護士久保井聡明

1 報告書の大雑把なガイダンス

- (1) テーマ選定の理由 (5p)
4年度委託料約238億(一般会計決算額の約15.21%)、第4次総合計画折り返し点
- (2) 吹田市の委託契約の事務【11p～】
必要性、契約方法の選択、予定価格・最低制限価格の設定、入札・契約締結、進捗確認、履行確認、効果検証は原則として各室課が実施
- (3) ★問題意識★
原則各室課が実施→では、委託契約全体の内部統制や情報共有はどうしているか?
- (4) 3つの監査手法
①統計分析【第3編・26p～】、②各室課アンケート【第4編・36p～】、③個別契約調査100件【第7編・93p～】
- (5) 3つの総論的意見(第6編・63p～)
①契約検査室の役割【63p～】、②決裁文書の記載・資料保存【73p】、③委託契約の各段階での課題【74p～】
- (6) 各論 個別契約の契約事務(第7編・93p～)

2 統計分析【第3編・26p～】

- ①契約方法ごと件数・総額(27p)、②同一契約先9年継続(31p)、③契約方法ごと落札率(32p)、④プロポーザル応募状況(34p)

3 各室課アンケート【第4編・36p～】

- ①契約事務進捗管理表等(38p～)、②契約検査室(40p～)、③委託と直営(42p～)など

4 3つの総論的意見(第6編・63p～)

- (1) 契約検査室の役割について【63p】
 - ①契約検査室の役割明確化【63p】⇒委託の内部統制と役立つ情報収集と提供
 - ②内部統制【64p～】
 - ア)契約事務進捗管理表の運用の継続的改善、イ)入札監視委員会・監査委員監査の指摘の部局横断的展開、ウ)重要個別事案の横断的な情報共有、エ)オープンデータの更なる活用
 - ③役立つ情報の収集と提供【71p～】
 - ア)暗黙知の見える化(FAQ)、イ)先進事例の情報収集と提供
- (2) 決裁文書への重要な意思決定の過程の記載および裏付け資料の保存【73p】
⇒随契理由、予定価格・最低制限価格根拠資料保存、ガイドライン上に明記
- (3) 委託契約の各段階での課題【74p～】⇒右図参照

【意見9,10】委託の必要性、目的、効果検証

① 委託の目的

<委託についての監査の視点>

- そもそも委託すべき案件か?
- 現在委託していない業務で委託を検討すべきものはないか?

このあたりの検討はどうやっているのか?

【結果1】【意見11,12】

② 契約方法の適切性

- 一般競争入札
- 制限付入札→公平性、市内業者振興
- 指名競争入札→必要性、適切な指名
- 随意契約→必要性、相手の属性

- その他の契約の適切性
 - プロポーザル契約
 - 長期継続契約
 - 債務負担行為
- 分割発注の適切性
- 逆に分割すべきものは?

【意見13~18】予定価格、最低制限価格、入札者増等

③ 価格の適切性

- 最低制限価格 →価格妥当性
- 予定価格 →価格妥当性
- 見積もり合わせ →見積の取り方
- 安すぎるのも問題 →価格妥当性

【意見19】

④ 入札手続

- 電子入札と紙の入札 →談合防止措置
- 入札事務の改善点は?

【意見20,21】履行確認
【意見22】再委託

⑤ 進捗や履行確認

- 履行確認 →単なるミスか組織上の問題か?
- 再委託の管理
- 個人情報保護

【意見9,10】

⑥ 効果検証と改善

- 検証の仕組み
- PDCAサイクルの仕組み
- 入札等監視委員会の役割
- 監査委員の監査

- 内部統制の状況(チェックリスト等)
- 規程、要綱、マニュアルの整備状況
- 各室課への共通質問からの課題
- 他の自治体などの先進的取組

【意見1~7】
・契約検査室の役割の明確化
・内部統制
・「役立つ情報」の提供

【意見8】
・決裁文書への重要な意思決定過程記載
裏付け資料の保存

※前提となる数値の把握と分析

- 必要なデータは何か?
 - ①委託の全体の件数・金額
 - ②うち一般、指名、随意契約などの割合
 - ③入札の落札率、入札流れの件数
 - ④随意契約関連の統計(同一委託先への同一金額での割合、その他)
 - ⑤外部団体への委託関係
 - ⑥その他